

学校教育目標：社会に貢献し、よりよく生きる生徒の育成

知覚動考

姫戸中学校だより NO.7
「ともかくうごこう」
令和7年10月21日
文責：校長 豊原 康徳

育成を目指す資質・能力：3C (Challenge Communication Collaboration)

きまりやマナーについて考える



10月8日(水)の6校時に2年生道徳科の研究授業を行いました。電車内の席取りの出来事をもとに、「きまりやマナーの遵守について、その判断基準はどうあるべきか」について考えました。県立教育センターから指導主事を講師として招いた研修でしたが、3年生も授業を参観しましたので、2年生にとってはそちらの方が緊張したかもしれません。タブレットを活用しながら、自分の考えをまとめたり、友だちとの共有ができました。また、3年生は生徒による授業研究会も行い、生徒目線でまとめた学びの提言を先生方に示してくれました。

天草郡市中学校駅伝競走大会



10月16日(木)にあましんスタジアムを発着とする天草郡市中学校駅伝競走大会が開催されました。女子16チーム、男子17チームの出場で、本校は女子が13位、男子が16位でした。選手は夏休み前から約3ヶ月間、練習に取り組み大会に臨みました。目標としていた順位ではありませんでしたが、全力を出し切ることができました。当日は、全校応援ということで、選手以外の生徒も沿道でしっかり応援しました。

前期評価について

10月23日（木）に前期通知表をお配りします。主な記載事項は学習の記録（評価・評定）、特別活動の記録、行動の記録、担任所見となりますが、特に気になるところは学習の記録だと思います。通知表の学習の記録の下段に「評価の仕方」が示してありますので、ご確認ください。ここでは、評価について簡単に確認をしておきたいと思います。



□観点別評価とは（A, B, Cの3段階）

学習内容を3つの観点に分類し、それぞれの学習状況を規準に照らして評価したものです。ただし、3つは完全に分類されるものではなく、互に関連しています。「知識・技能」は、学習内容や技能の定着を見ます。「思考・判断・表現」は、いくつかの知識等を組み合わせ、身に付けた技能を使って思考・判断し、表現することを見ます。「主体的に学習に取り組む態度」は、知識・技能を身に付けたり、主体的に思考し、表現しようとするなど、自らの意思で学ぼうとする姿を見ます。

□評定とは（5～1の5段階）

評定は観点別学習評価を総括して算出します。単にテストの点数のみで判断するものではありません。また、他者との比較や相対的な順位で決まるものでもありません。「おおむね満足できる」状態を3とします。

多くの学びがありました

【台湾 上林國小学校との交流会】

9月30日（火）に3年生が台湾の小学生と交流学習を行いました。英語での交流でしたので、少しばかりの恥ずかしさと表現などで難しい面もありましたが、楽しく情報交換ができました。

【1年生調理実習】

10月9日（木）の5・6校時に1年生が家庭科の調理実習を行いました。メニューはハンバーグをメインに、スープやデザート類も調理しました。予想以上に手際よくできていました。

【薬物乱用防止教室】

10月17日（金）の6校時は薬物乱用防止教室でした。薬の成分による効用と副作用、オーバードーズ等について学びました。

